

星空 だより

普及版
2024年10月

がいけつ!
ぎもん・てんもん



今月の投映

久喜プラネタリウム総選挙! 2024
今夜の星空+テーマ番組「銀河中心のブラックホールがこんなに見えるわけがない」

平成18年度より続く毎月変わるテーマ番組。10・11月は過去番組への人気投票「久喜プラネタリウム総選挙!」で選ばれた番組を再投映します! 10月は「銀河中心のブラックホールがこんなに見えるわけがない」に決定!!

20日(日)13:30 は一般投映です。「かいけつ!ぎもん・てんもん」ではありません

土曜11:00 今夜の星空+こども番組「ペルセウス VS メデューサ」

20日(日)15:30 かいけつ!ぎもん・てんもん「【復習】月の満ち欠け」(小6)

投映日 ● 一般向け ★ こども向け ※開始時刻の10分前から入場できます。

	11:00~	13:30~	15:30~	16:30~
平日(月・水・木)				●
土曜日	★	●	●	
日曜日・祝日・春・夏・冬休み	●	●	●	

※予定変更が生じる場合があります。最新情報はホームページ、X(旧ツイッター)等をご確認ください(右下QRコード)。

※20日(日)15:30~は小学校理科の内容を扱う『かいけつ!ぎもん・てんもん』です。ご利用人数が落ちてきたため、15:30~1回投映に戻ります。13:30~は一般投映です。

小学4・6年生が理科で習う内容を中心に、毎月わかりやすく星のお話をします。楽しく学べて学校の授業にもとても役に立ちます!

今日は…20日(日)15:30

「【復習】月の満ち欠け」(小6)

月はどのようにして形が変わるのだろうか? 太陽との位置関係は? 実験を交えて確かめてみよう!

観覧料

大人(高校生~) 300円 子ども(3歳~中学生) 100円
 団体(20名以上) 大人250円、子ども80円 ※久喜総合文化会館メンバークラブ/フレンズ会員の方はご本人様のみ無料
 障がい者個人および介護者 1名 個人の料金の50%割引(要当該手帳提示)

イベントの予定

お月見飾り ~10月14日(月・祝)

今年の後の名月(十三夜)は10月15日(火)です。中秋の名月から引き続き、プラネタリウム前ロビーにお月見の飾りつけをします。見に来てね!



勤労感謝の日特別投映『熟睡プラネタリウム』11月23日(土・祝)15:30~

『熟睡プラネタリウム』は日頃お疲れの皆さんに向け、ゆっくり寝てもいいプラネタリウムとして、2011年より11月23日勤労感謝の日(明石市立天文科学館)で開始され、全国にじわじわ広がりにつつある…ようです。今年は久喜でもやってみようかな? みなさんも軽い気持ちで寝に来てくださいね!

天体観望会 12月8日(日)17:30~19:00 (18:00まではプラネタリウムでの事前学習)

定員…136名(先着順) 観察する星…月、金星、土星、木星、土星食など

※18:20頃土星が月に隠されます。18:59頃再び現れます。

参加費…無料 申込…会館事務室に電話か直接申し込む(11月8日(金)~)

※中学生以下保護者同伴。※天候不良の場合プラネタリウム投映のみ実施。

※当日は17:00~17:20にプラネタリウム前集合(受付が出ています)。

11月の投映内容(予定)

今夜の星空+テーマ番組
「久喜プラネタリウム総選挙!2024」

土曜11:00 今夜の星空+こども番組「ペルセウスVSメデューサ」

17日(日)15:30

かいけつ!ぎもん・てんもん
「【復習】太陽と月の違い」(小6)

お知らせ

内容変更となる場合があります。最新情報はホームページで→→→



アカウントをお持ちの方は『X(旧ツイッター)』もご覧ください!

X @KUKI_bunka



久喜総合文化会館

〒346-0022 埼玉県久喜市下早見 140
 TEL: 0480-21-1799 FAX: 0480-23-6488

10月の星空

1日 21時ごろ
15日 20時ごろ
30日 19時ごろ



星図の使い方

- ①見たい方向を向きます。
- ②見たい方向を下にして星図を持ちます。
- ③そのまま頭の上にかざし、星空と見くらべます。

- 土星 ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 天の川

惑星

南土星… 1等級。夕方～宵に高く昇り観察しやすい。今年は秋の四角形からみなみのうお座のフォーマルハウトを探す線上にある。来年、環が横を向くため望遠鏡では環が細く見える。

主な1等星

西ベガ[こと座]… かなり高く、明るく目立つ。たなばたの“おりひめほし”。

南西アルタイル[わし座]… かなり高い。たなばたの“ひこほし”。

天頂デネブ[はくちょう座]… 尻尾の意。

南フォーマルハウト[みなみのうお座]… 低い、図のように頭上高く昇った秋の四角形(四角)から探すことができる。秋の星座ではただひとつの1等星で、秋のひとつ星、南のひとつ星などとも呼ばれる。

日の出

10月1日	5:36
15日	5:48
30日	6:01

日の入

10月1日	17:26
15日	17:06
30日	16:48

夕方南西の低空に金星が見えるよ！
見つかるかな…？

話題の彗星がこんなに明るいわげがない。



紫金山・アトラス彗星は2023年1～2月に中国の紫金山天文台と南アフリカ共和国のATLAS望遠鏡により発見され、当初大変明るくなるかと期待されました。彗星の正体(核)はチリを含む氷の塊で、太陽に近づくと溶け出し、水やチリが長い尾を作ります。一時は核崩壊説が出たものの、9月28日の太陽最接近を経て

未だ健在！(9月30日執筆時)。9月下旬、明け方東の低空で姿が捉えられ始めた頃の明るさは3等級。明るさの予想は当初ほどではなくなったようですが、太陽接近を経てどの程度明るくなるかはまだわかりません。10月上旬は太陽との位置関係から見られず、10月12日以降、夕方西の低空に姿を現し、10月13日、地球に最接近します。この頃はまだまだ低く、日毎に高度が上がり見やすくなりますが、地球からは離れていきます。金星とうしかい座のアルクトウールスの間を日毎に高くなると思えばいいでしょう。最新情報はプラネタリウムでお知らせします！

こよみ

- 10月3日 ● 新月
- 8日 ● 寒露
- 8～9日 10月りゅう座流星群
- 11日 ● 上弦
- 13日 ツーチンジャン 紫金山・アトラス彗星が地球最接近
- 14日 つぎどせい 月と土星が接近(夕方南東～翌日明け方西の空)
- スポーツの日
- 15日 のちめいげつじゅうさんや 後の名月(十三夜)
- 17日 ● 満月(スーパームーン)
- 21～22日 オリオン座流星群
- 23日 霜降
- 24日 ● 下弦